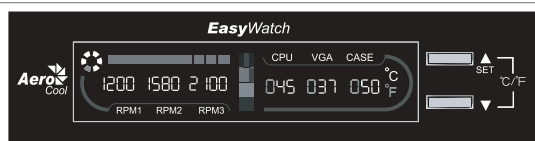


LCDパネル表示設定



ファン回転数表示部
ポリウム計
温度表示部
設定スイッチ

・摂氏/華氏表示切替え
設定スイッチ2つ(▲と▼)を同時に押しと切替可能です。

・アラーム(警告)温度設定方法
設定スイッチのSETボタン(▲)を3秒間押しとCPU温度部が点滅しますので▲▼ボタンで任意の温度に設定して下さい。
設定後5秒ほどでVGA温度部が点滅しますので、同じ要領で任意の温度に設定します。
VGA温度部の設定後5秒ほどでCASE温度部が点滅しますので、同じ要領で任意の温度に設定して下さい。

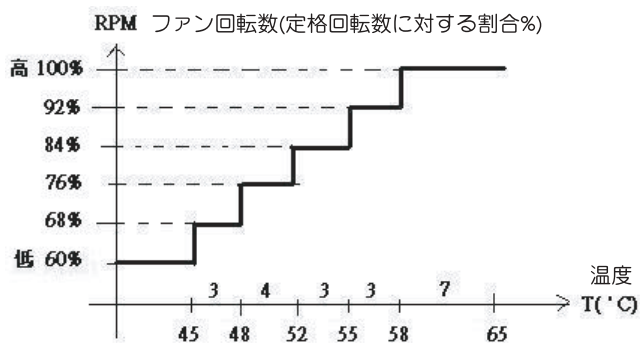
・アラーム音停止機能
アラーム鳴動時にいずれかの設定スイッチを押すとアラーム音を停止することが出来ます。

・ポリウム計
外部の音に反応インジケータが明滅するイルミネーションとなります。

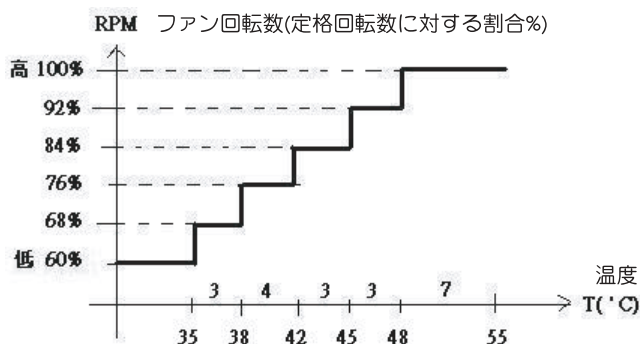
ファン回転数設定 (全自動)

この設定はプリセットされておりますのでユーザーによる任意の変更は出来ません。

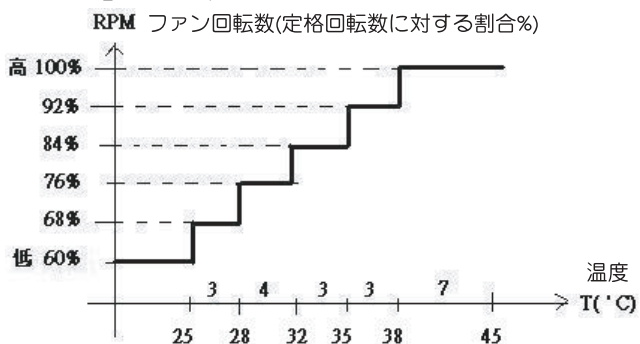
「RPM1」チャンネル



「RPM2」チャンネル



「RPM3」チャンネル



【アラーム設定温度】

- ・CPU : 60°C
- ・VGA : 50°C
- ・システム/ケース内 : 50°C

※工場出荷段階での設定になります。ユーザー任意で変更可能です。

【アラーム動作について】

- ・ファン : 接続されたファンの回転が止まった時にアラーム音が約20秒間鳴ります。同時にLCDインジケータ内のファン回転数表示部が点滅します。この点滅はファンが正常動作状態に戻るまで継続されます。
※ファンが接続されていないチャンネルについては「0000」と表示されます。
- ・温度 : 計測温度がアラーム設定温度を超えるとアラーム音が約20秒間鳴ります。同時にLCDインジケータ内の温度表示部が点滅します。この点滅は温度がアラーム設定温度以下に戻るまで継続されます。

【ファン回転数について】

各チャンネルのファン回転数設定については左図のグラフを参照し、ご使用環境によるおおよそのファン回転数を算出して下さい。

例:

チャンネル3(システム/ケース内)に定格1500rpmのファンを接続した場合、ケース内温度が25°C未満の場合は1500×60%=900rpm前後で回転します。

25°C~28°Cの範囲では1500×68%=1020rpm前後、以降左図グラフに記載の温度範囲および負荷(%)で回転数は上昇を続けます。

【ケーブルコネクタについて】

1) 温度センサーケーブル



左図の温度センサーケーブルを任意の計測場所に設置して下さい。設置の際は温度センサー素子(先端部)に圧力が掛からないようご注意ください。

(例)CPUクーラーとCPUの間などは設置不可

2) ファンおよび電源コネクタケーブル



左図の3ピンオスコネクタにお使いのファンを接続して下さい。4ピンコネクタタイプのファンはパルス信号線がないため3ピンコネクタに変換して接続されても本ファンコントローラーの機能はお使いになれません。左図の4ピンコネクタは電源供給用となりますのでご使用の電源と接続して下さい。4ピンコネクタタイプのファンを接続しないようご注意ください。